

8 1 石狩川水系 桂沢ダムの効果 (平成24年8月13日 前線を伴った低気圧)

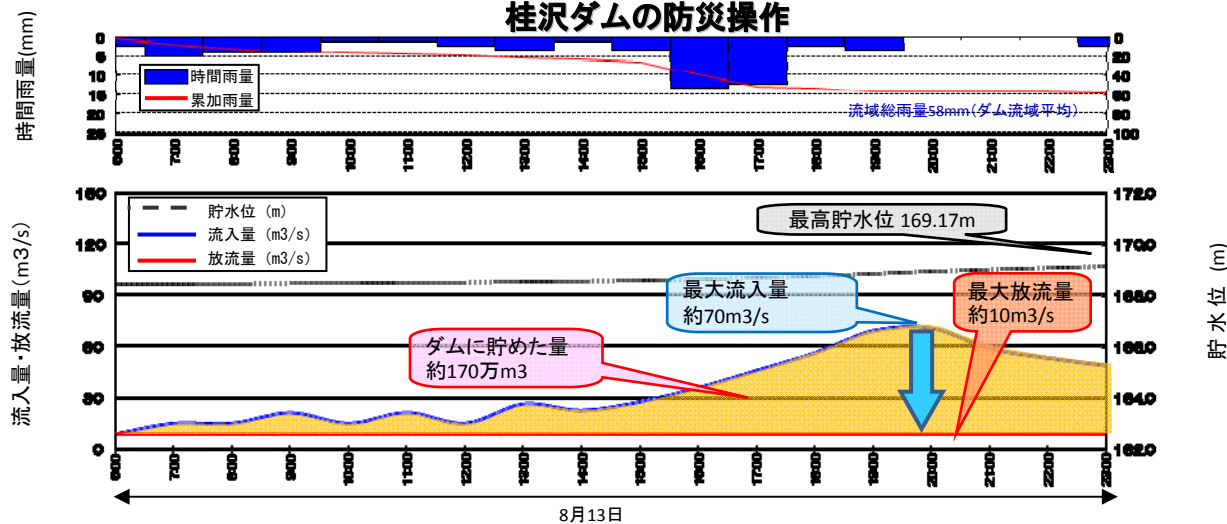
○石狩川水系桂沢ダム上流域において、17時間雨量が58mmとなり、最大で毎秒70m³/sの流入量を記録しました。
 ○今回の洪水期間中において、最大約170万m³(札幌ドーム約1個分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
 ○ダム下流の西川向水位観測所地点(岩見沢市新川橋付近)では、約1.8mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

西川向水位観測地点の水位
 ダム整備前 : 7.60m
 ダム整備後 : 5.83m
 →約1.8mの水位低減

桂沢ダム位置図



桂沢ダムの防災操作



新川橋より上流方向(西川向水位観測所付近)



西川向水位観測所地点における水位低減効果

